

2026 年度

東京藝術大学
大学院映像研究科（修士課程）

映画 専攻
メディア映像 専攻
アニメーション 専攻

学生募集要項

2025 年 8 月 1 日

東京藝術大学

目次

2026 年度入学者選抜試験 実施日程表	1 頁
○大学院映像研究科（修士課程） アドミッションポリシー	2 頁
1 募集人員	2 頁
2 出願資格	3 頁
3 標準修業年限	4 頁
4 指導教員	4 頁
5 出願方法（各専攻共通）	5 頁
1. インターネット出願登録前の確認及び準備	6 頁
2. インターネット出願登録期間	7 頁
3. 入学検定料の支払い	8 頁
4. 必要書類の郵送	10 頁
5. 受験票の印刷	12 頁
6 試験の内容及び採点・評価の基準	13 頁
7 合否判定基準	14 頁
8 作品・資料の提出、日程・内容等（映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻）	14 頁
1. 映画専攻	14 頁
2. メディア映像専攻	24 頁
3. アニメーション専攻	26 頁
9 受験における注意事項	29 頁
10 入学試験会場	30 頁
11 合格者発表	32 頁
12 入学手続等	33 頁
13 「入学料・授業料の免除・徴収猶予」について	33 頁
14 外国人留学生への注意事項	35 頁
15 入学試験情報の開示請求	35 頁
16 個人情報の取扱いについて	36 頁
17 大学院映像研究科（修士課程）入試説明会の実施について	37 頁
18 メディア映像専攻 研究室訪問について	37 頁

2026 年度入学者選抜試験 実施日程表

1 願書受付期間 ※日時は、日本標準時（JST）とする。

・映画専攻（監督、脚本 各領域）、メディア映像専攻、アニメーション専攻

○インターネット出願登録期間：2025 年 11 月 20 日（木）～ 2025 年 11 月 26 日（水）

○入学検定料支払及び郵送での必要書類提出期間（消印有効期間）

：2025 年 11 月 20 日（木）～ 2025 年 11 月 27 日（木）

・映画専攻（プロデュース、撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集 各領域）

○インターネット出願登録期間：2026 年 1 月 5 日（月）～ 2026 年 1 月 8 日（木）

○入学検定料支払及び郵送での必要書類提出期間（消印有効期間）

：2026 年 1 月 5 日（月）～ 2026 年 1 月 9 日（金）

2 日程（詳細は、映画専攻 1 4 頁～ 2 3 頁、メディア映像専攻 2 4 頁～ 2 5 頁、アニメーション専攻 2 6 頁～ 2 8 頁に掲載）

2025 年			映画専攻 【監督、脚本 各領域】	映画専攻 【プロデュース、撮影照明、 美術、サウンドデザイン、 編集 各領域】	メディア映像専攻	アニメーション専攻
月	日	曜				
12	23	火	第 1 次試験 脚本 (作品提出) 12/22～23 (正午) 締切			
2026 年						
1	5	月	第 1 次試験 監督 (作品提出) 12/18～1/5 締切			
1	13	火				第 1 次試験 (参考資料提出)
1	14	水	第 1 次試験合格者発表全領域			
1	16	金				第 1 次試験 (参考資料提出) ↓ (正午) 締切
1	20	火			第 1 次試験 (参考資料提出)	
1	23	金			↓	
1	26	月			第 1 次試験 (参考資料提出)	
1	28	水				第 1 次試験合格者発表
1	29	木	第 2 次試験 監督 (課題作品提出) 1/29 締切	第 1 次試験 撮影照明・サウンド・編集 (作品提出) 1/27～1/29 締切		
1	30	金	第 2 次試験 脚本 (課題作品提出) 1/29～1/30 (正午) 締切	第 1 次試験 プロデュース・美術 (作品提出) 1/29～1/30 (正午) 締切		
2	3	火			第 1 次試験合格者発表	
2	6	金	第 2 次試験合格者発表 全領域	第 1 次試験合格者発表 全領域		
2	10	火				第 2 次試験 (筆記)
2	11	水	第 3 次試験 監督 (作品提出) 2/11 締切			第 2 次試験 (口述)
2	12	木	第 3 次試験 全領域 (筆記)	第 2 次試験 全領域 (筆記)		第 2 次試験 (口述)
2	13	金	第 3 次試験 脚本 (実技)			
2	14	土	第 3 次試験 監督 (実技)	第 2 次試験合格者発表 (プロデュース領域)		
2	15	日	第 3 次試験 脚本 (口述)	第 2 次試験 撮影照明 (課題作品提出) 2/15 (正午) 締切		
2	16	月	第 3 次試験 監督 (口述)	第 2 次試験 撮影照明 (口述) 第 2 次試験 編集 (課題作品提出) 2/16 締切	第 2 次試験 (課題提出)	
2	17	火		第 2 次試験 美術 (課題作品提出)	第 2 次試験 (課題提出)	
2	18	水		第 2 次試験 美術 (口述) 第 2 次試験 編集 (実技)		
2	19	木		第 2 次試験 サウンドデザイン (口述) 第 2 次試験 編集 (口述)	第 2 次試験 (筆記)	
2	20	金			第 2 次試験 (口述)	
2	21	土		第 3 次試験 プロデュース (実技、ディスカッション・口述)	第 2 次試験 (口述)	
2	27	金	最終合格者発表 全専攻			

○大学院映像研究科（修士課程）アドミッションポリシー

映像研究科は創作の現場を持つ特色を生かし、理論と実践の両面から研究を深めることのできる人材を求めています。入学試験においては、これまでに行ってきた活動を総合的に判断し、創作を通して理解を深めることのできる能力を評価します。

1 募集人員

専攻	研究分野	領域	募集人員
映画 (注1)	映画表現技術	監督	32
		脚本	
		プロデュース	
	映画制作技術	撮影照明	
		美術	
		サウンドデザイン	
		編集	
メディア映像			16
アニメーション			16

(全体) 映像研究科内の各専攻との併願はできない。

メディア映像、アニメーションのゲーム研究分野は、ゲーム・インタラクティブアート専攻の設置にともない募集を停止します。

(注1) 映画専攻志願者は、出願時に1つの領域を選択すること。ただし、監督、脚本 各領域の第1次試験に不合格となった者が、プロデュース領域以外（撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集）のいずれか1つの領域に出願することは差し支えない。（＝プロデュース領域への出願は不可）

【予告】2027年度（来年度）入試においては、映画専攻撮影照明領域の第2次試験において実技試験を実施する。

2 出願資格

本研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に規定する日本の大学を卒業した者（2026 年 3 月卒業見込みの者を含む。）
2. 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（2026 年 3 月までに授与される見込みの者を含む。）
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（2026 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（2026 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（2026 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2026 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号、2 号参照）
8. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2026 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）
9. 出願資格 1～8 に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

（注）出願資格 9 により出願を希望する者には、個別に出願資格の審査を行うため、「入試情報サイト（<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/fim/application/>）」よりダウンロードした申請書及び本研究科が指定した書類等を 2025 年 10 月 30 日（木）17:00（郵送・必着）までに大学院映像研究科教務係へ提出すること。

日本語能力について

本研究科（修士課程）の「映画専攻」及び「アニメーション専攻」に出願できる外国人留学生は、次に該当する日本語能力を有する者とする。

出願時点で「日本語能力試験（JLPT）」の「N1 レベル」または「N2 レベル」に合格している者。

※「日本語能力試験（JLPT）」以外の日本語試験結果は受付不可。

※ただし、出願時に国費外国人留学生である者は、同試験を免除する。

3 標準修業年限

2年

4 指導教員 (2025 年 8 月現在)

専攻	研究分野	領域	指導教員	
映画	映画表現技術	監督	教授	諏訪 敦彦
			教授	塩田 明彦
		脚本	教授	大石 みちこ
		プロデュース	教授	市山 尚三
	映画制作技術	撮影照明	教授	谷川 創平
		美術	教授	三ツ松 けいこ
		サウンドデザイン	教授	長瀧 寛幸
		編集	教授	横山 昌吾
メディア映像	メディア研究			(桂 英史教授の後任) ◎
	インターメディア		教授	高山 明
	映像表現		教授	山城 知佳子
	空間表現		准教授	服部 浩之
アニメーション	創作・表現		教授	山村 浩二
	造形・視覚デザイン		教授	伊藤 有壱
	企画・プロデュース		教授	岡本 美津子
	研究・構想		教授	布山 タルト
ゲーム・インタラクティブアート	企画・ゲームデザイン		教授	小山 順一朗 ◎
	ゲームテクノロジー		教授	三宅 陽一郎 ◎
	映像表現		准教授	牧 奈歩美 ○
	社会応用		教授	桐山 孝司 ○
	文化・美学		教授	八谷 和彦 ◎

◎を付した教員は 2026 年 4 月 1 日に着任する。

○を付した教員は「メディア映像」「アニメーション」から異動する。

5 出願方法（各専攻共通）

本研究科（修士課程）の出願手続は、インターネット出願である。以下1の確認と準備を実施し、以下2，3の手続を指定された期間内に行って、以下4のとおり必要書類を郵送すること。郵送された書類により出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となる。出願が受理されると、以下5のとおり「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。

- ・入試情報サイト URL <https://admissions.geidai.ac.jp/>
- ・インターネット出願サイト URL <https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>

1	インターネット出願登録前の確認及び準備 (6 頁参照)	
2	インターネット出願登録 (7 頁参照)	「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を登録すること。
3	入学検定料の支払い (8 頁参照)	上記2の完了後、「インターネット出願サイト」から入学検定料の支払手続を行うこと。インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59までに入学検定料の支払手続が行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため注意すること。
4	必要書類の郵送 (10 頁参照)	上記3の完了後、「インターネット出願サイト」及び「入試情報サイト」から必要書類を印刷し、他の必要書類とともに本研究科に郵送すること。
5	受験票の印刷 (12 頁参照)	出願資格が確認されて出願が受理されると、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して受験時に持参すること。

○「インターネット出願サイト」の操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079

※平日 10:00～18:00 土・日・祝日・年末年始を除く。出願期間中は24時間対応。

※日本語のみ

メール：cvs-web@career-tasu.co.jp

※日本語・英語対応可

※入試に関する質問についてはお答えできません。

○受験に関する質問は以下に問い合わせること。

東京藝術大学 大学院映像研究科教務係

電話：045-650-6201（平日 9:00～17:00 土・日・祝日・年末年始を除く。）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせること。

○出願期間 ※日時は、日本標準時（JST）とする。

専攻（領域）	インターネット 出願登録期間	入学検定料 支払期間	郵送による必要書類 提出期間 (消印有効期間)
映画専攻 (監督領域) (脚本領域)	2025 年 11 月 20 日 (木) 10:00 から 2025 年 11 月 26 日 (水) 23:59 まで	2025 年 11 月 20 日 (木) から 2025 年 11 月 27 日 (木) まで	2025 年 11 月 20 日 (木) から 2025 年 11 月 27 日 (木) まで
メディア映像専攻			
アニメーション専攻			
映画専攻 (プロデュース領域) (撮影照明領域) (美術領域) (サウンドデザイン領域) (編集領域)	2026 年 1 月 5 日 (月) 10:00 から 2026 年 1 月 8 日 (木) 23:59 まで	2026 年 1 月 5 日 (月) から 2026 年 1 月 9 日 (金) まで	2026 年 1 月 5 日 (月) から 2026 年 1 月 9 日 (金) まで

1. インターネット出願登録前の確認及び準備

パソコン等の 動作環境の確認	インターネット出願は、以下の環境で行うこと。 【PC 利用時推奨ブラウザ】 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えること。 【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】 ・iOS 12 以降 ・Android 8 以降 ・iPadOS 13 以降 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。 ※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用すること。	
メールの設定	志願者が登録したメールアドレスに no-reply@e-apply.jp からメールが以下のとおり 4 回送信されるため、あらかじめ受信できるように設定しておくこと。 ・マイページ登録時の初期パスワードお知らせメール ・インターネット出願登録完了時の自動返信メール ・入学検定料支払完了時の自動返信メール ・受験票が印刷可能になった際の通知メール	
写真の用意	脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前 3 か月以内に撮影したカラー写真データ(2MB まで)を用意すること。 (右の画像を参考にして撮影すること。縦長であること。比率は縦 4 : 横 3 が望ましい。) ※使用できない写真の例 不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているものなど。	
出願資格を証明する書類	11 頁参照の上、出願に必要な書類はあらかじめ用意しておくこと。	
封筒の用意	必要書類提出に使用するため、市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) を用意すること。	

用紙の用意	「インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) 」及び「入試情報サイト (https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/) 」から必要書類を印刷できるようA4サイズ、白色の用紙を用意しておくこと。
-------	--

2. インターネット出願登録期間 ※日時は、日本標準時（JST）とする。

映画専攻（監督，脚本 各領域）	2025 年 11 月 20 日（木）10:00 から 2025 年 11 月 26 日（水）23:59 まで
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集 各領域）	2026 年 1 月 5 日（月）10:00 から 2026 年 1 月 8 日（木）23:59 まで

○手順

インターネット出願登録期間内に「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 」トップページの「Web 出願」から「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>) 」にアクセスし、出願に必要な情報を登録すること。

「インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) 」にアクセス ▼
マイページ登録 トップ画面「マイページ登録」（オレンジ色のボタン）をクリックし、入力画面に従い、個人情報等を事前登録すること。 ▼
志望先登録 マイページにログインした後、「出願手続きを行う」をクリックする。 トップページにある「映像研究科」を選択して「次へ」進むこと。 志望課程・志望する専攻・志望する研究分野・領域を選択し「次へ」進むこと。 ※入学検定料免除制度：該当項目がある場合はチェックを入れ、該当しない場合は何も入力せずに「次へ」進むこと。 ▼
個人情報の登録・顔写真データのアップロード カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること（6 頁参照） マイページ登録の際に登録した氏名、住所等の個人情報が自動的に転記されるため、内容を確認すること。 その他（本籍又は国籍、受験時の連絡先 他）の必要事項を全て入力し「次へ」進むこと。 ▼
申込内容の確認 入力内容に誤りがないか確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」をクリックする。 ▼
出願登録の完了 画面に受付番号が表示されたら登録は完了となる。 「引き続き支払う」をクリックして、支払い手続きに進む。（8 頁参照）

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに受付番号が記載された登録完了メールが届くので、必ず確認すること。

※受付番号は、出願内容の確認、入学願書の印刷等で必要となるため、登録完了メールは入試終了まで大切に保管すること。

インターネット出願登録に関する注意事項

- ・12桁の受付番号は受験番号ではないため注意すること。
- ・登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。
- ・入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックして、改めて出願登録及び入学検定料の支払いをすること。誤って納入した入学検定料の返還請求については、10ページを確認すること。
- ・インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59までに入学検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため注意すること。
- ・写真は、出願写真として適切でないと判断された場合、再提出になる場合がある。

3. 入学検定料の支払い

○入学検定料

金額：36,000円（支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。）

○支払手順

インターネット出願登録完了後、以下いずれかの手順で入学検定料の支払手続きに進むこと。

- ① インターネット出願登録完了後、「引き続き支払う」をクリックする。
- ② 「インターネット出願サイト」トップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックする。

○支払期間 ※日時は、日本標準時（JST）とする。

専攻（領域）	支払期間
映画専攻 （監督、脚本 各領域）	2025年11月20日（木）から 2025年11月27日（木）まで
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻 （プロデュース、撮影照明、美術、 サウンドデザイン、編集 各領域）	2026年1月5日（月）から 2026年1月9日（金）まで

インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59までに入学検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願登録されたデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため、その前に支払手続きを完了すること。ただし、インターネット出願登録完了日が以下の場合は、支払期間最終日が支払期限日となるため注意すること。

- ・映画専攻（監督，脚本 各領域），メディア映像専攻，アニメーション専攻
2025 年 11 月 25 日（火）～2025 年 11 月 26 日（水）
- ・映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集 各領域）
2026 年 1 月 7 日（水）～2026 年 1 月 8 日（木）

○支払方法

支払方法	取扱金融機関等
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン，ミニストップ(Loppi)／ ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ Card／NICOS／VISA／Master Card／JCB／AMERICAN EXPRESS
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング／PayPay 銀行／楽天銀行／ 住信 SBI ネット銀行／au じぶん銀行

※Pay-easy 対応な金融機関及び ATM については，以下 URL を参照すること。

Pay-easy が使える金融機関 <https://www.pay-easy.jp/where/index.html>

○注意事項

- ・支払手続完了メールが届いていることを確認すること。このメールは，入試終了まで大切に保管すること。
- ・出願時に国費外国人留学生である者は，支払不要である。ただし，「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい提出すること。
- ・入学検定料の支払手続が完了すると，入学願書等の必要書類が印刷できるようになる。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は出願者本人でなくてもかまわない。
- ・クレジットカードでの支払ができない場合は，他のカードで決済するか別の決済手段で支払うこと。

【入学検定料免除制度】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し，進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。

手続きの詳細は「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/kenteiryomenjo/>)」で確認すること。

- ・申請時期
入学試験のインターネット出願登録期間開始日の 1 週間前の日まで
- ・提出書類
 - 入学検定料免除申請書（本学指定様式）
 - 罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）
- ・注意事項
 - インターネット出願登録は，免除の結果が決定した後に行うこと。

- ・問い合わせ先
東京藝術大学 学生課入学試験係
〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763
E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還】

次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料の支払手続を行ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ・入学検定料の支払手続を行ったが、出願が受理されなかった場合

返還請求する場合は、本学指定様式「検定料返還請求願」を「入試情報サイト

(<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」よりダウンロードし、必要事項を記入の上次の送付先に郵送すること。

・郵送先

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学 財務会計課経理係

・注意事項

- 本学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額となる。
- 入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
- 「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- 「検定料返還請求願」の提出期限は2026年3月31日（消印有効）とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

4. 必要書類の郵送

○手順

入学検定料の支払手続完了後、「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」及び「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」から必要書類を印刷し、必要事項を記入の上、その他の必要書類とともに本研究科に郵送すること。

○郵送期間（提出期間）

専攻（領域）	郵送期間（提出期間）
映画専攻 （監督，脚本 各領域）	【消印有効期間】 2025年11月20日（木）から2025年11月27日（木）まで
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻 （プロデュース，撮影照明，美術， サウンドデザイン，編集 各領域）	【消印有効期間】 2026年1月5日（月）から2026年1月9日（金）まで

○必要書類

入学願書	「インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) 」から A4サイズ、カラー で印刷すること。
写真票	氏名は原則、戸籍と同一文字とする。日本国籍以外の者は、在留資格を記入すること。現住所は、願書記入時の住所でよい。
志望研究調書	「入試情報サイト (https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/) 」から指定様式をA4サイズで印刷し、必要事項を記入すること。
入学手続書類送付用宛名ラベル	入学手続書類送付用宛名ラベルは、切り取り線で切り取った上で 2枚とも提出すること(クリップ止め可、ホッチキス止め不可)。
大学学部 成績証明書	出身大学長(学部長)が証明したものを用意すること。いずれも原本(カラーコピー不可)を発行元の封筒から出して、提出すること(封筒は提出不要)。 ※中国の大学を卒業した方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)発行の
大学卒業(又は卒業見込) 証明書	「学位認証書」および「成績認証書」の提出も認める。 ※日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関が証明したものでなくてもよい)
公益財団法人日本国際教育支援協会と 独立行政法人国際交流基金が主催する 日本語能力試験(JLPT)の 「認定結果及び成績に関する証明書」 又は「合否結果通知書」の原本 ※映画専攻・アニメーション専攻の 受験生で母国語が日本語以外の者は 必ず提出。(除く国費留学生) ※メディア映像専攻の受験生は、 受験したことがある場合のみ提出。	映画専攻及びアニメーション専攻を受験する外国人留学生(=日本語以外を母国語とする受験生)は、「日本語能力試験のN1またはN2レベル」に合格したことを証明する書類(下記証明書の原本)を必ず提出すること。 ※ <u>ILPT</u> 以外の日本語試験結果は受付不可。 メディア映像専攻を受験する外国人留学生で、同日本語能力試験(N1～N5)を受験したことのある者は、下記証明書の原本を提出すること。 認定結果 及び成績 に関する 証明書 (例1) 証明書 ※ A4 縦版 合否結果 通知書 (例2) 合否結果 通知書 ※ハガキ 認定書 ※ハガキ 版 ※左半分のみ提出 認定結果及び成績に関する証明書(例1)原本、又は合否結果通知書(例2)原本の左半分のみを提出し、日本語能力認定書(A4縦版、ハガキ版)は提出しないこと。
その他の必要書類等	次に該当する場合は、それぞれの書類を提出すること。 ・国費外国人留学生は、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生在籍証明書」を提出すること。 ・各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本等)を提出すること。 ・成績証明書について、(編入学などにより)4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって卒業した場合は、在籍した全ての学校の成績証明書を提出すること。 ・日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関が証明したものでなくてもよい) 本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。

○郵送方法

- ・必要書類提出に使用する市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意すること。
- ・「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>) 」から「封筒貼付用宛名シート」を印刷し(入学願書を印刷すると同時に印刷される)、角形2号封筒に貼り付けること。
- ・上記の角形2号封筒に必要書類を入れ、提出期間(期間中の消印有効)内に「書留・速達」で以下の送付先に郵送すること。〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科教務係

○注意事項

- ・必要書類の提出は、郵便局の消印が提出期間内に限り受け付ける。郵便局の消印が上記期間以外、本研究科に直接持参したものは、いかなる理由があっても受け付けない。
- ・出願手續完了後は、いかなる理由であっても書類の返却は行わない。
- ・海外からの発送はDHL、EMSなど確実に届く方法で本学に送付してください。

5. 受験票の印刷

出願手續完了後、受験票が「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」から印刷可能となる。(受験票の印刷が可能になった旨メールで通知される。)

志願者自身がA4サイズ of 用紙にカラーで印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日、持参すること。

受験票は本研究科から発送しない。試験当日は受験票が必要であり、出願登録した受付番号等では受験できない。インターネット出願した際の受付番号は受験番号ではないため注意すること。

○注意事項

- ・受験票を印刷し、記載内容について必ず確認すること。「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）へ連絡すること。
- ・受験票が印刷可能になった旨の通知メールが**映画専攻（監督、脚本 各領域）、メディア映像専攻、アニメーション専攻**は、2025年12月18日まで、**映画専攻（プロデュース、撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集 各領域）**は、2026年1月24日までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）へ連絡すること。

【東京藝術大学内の他の大学院との併願について】

本学内の他大学院（美術研究科、音楽研究科、国際芸術創造研究科）の入学試験を受験（併願）して差し支えない。ただし、複数の研究科に合格した場合は入学先を一つに決め、入学を辞退する研究科には「辞退届（様式任意）」を提出すること。

※映像研究科内の各専攻との併願はできない。

【受験上及び修学上の配慮申請の受付について】

本学では障害等のある志願者が、受験上および修学上、不利になることがないように配慮を行っています。受験上の配慮を希望する方は、出願に先立ち、以下の申請方法に従って事前にご相談ください。

- ・日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車いす等を受験時に使用したい場合も、配慮が必要になることがありますので、必ずご相談ください。

「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/home/hairyo/>)」の「受験上及び修学上の配慮申請」のページから「受験上及び修学上の配慮申請書」をダウンロードして記入し、「医師の診断書」等と併せて、出願前に大学院映像研究科教務係へ提出すること。また、出願後の不慮の事故による負傷等があった場合も、すみやかに相談すること。

6 試験の内容及び採点・評価の基準

【監督領域】

- 第1次試験 次の5つの観点（独創性、演出力、思考力、観察力、将来性）から総合的に評価します。
- 第2次試験 次の5つの観点（演出力、脚本の読解力、思考力、表現力、将来性）から総合的に評価します。
- 第3次試験 次の5つの観点（独創性、演出力、思考力、観察力、社会性（コミュニケーション力））から総合的に評価します。

【脚本領域】

- 第1次試験 次の5項目（独創性、表現力、構成力、同時代性、将来性）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の5項目（独創性、表現力、構成力、同時代性、将来性）を基準として総合的に評価します。
- 第3次試験 次の5項目（独創性、表現力、構成力、同時代性、社会性（コミュニケーション力））を基準として総合的に評価します。

【プロデュース領域】

- 第1次試験 次の5項目（企画の独創性、ストーリー展開、企画の実現性、同時代性、商業公開の可能性）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の3項目（読解力、思考力、表現力）を基準として総合的に評価します。
- 第3次試験 次の5項目（脚本の読解力、独創性、将来性、観察力、社会性（コミュニケーション力））を基準として総合的に評価します。

【撮影照明領域】

- 第1次試験 次の4項目（表現技術力、独創性、構成力、将来性）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の4項目（脚本読解力、表現力、意欲・将来性、社会性（コミュニケーション力））を基準として総合的に評価します。

【美術領域】

- 第1次試験 次の5項目（表現力、想像力、観察力、独創性、適応力）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の観点（脚本の読解力、想像力、表現力、適応力（柔軟に対応する力）、観察力、人柄・社会性）から総合的に評価します。

【サウンドデザイン領域】

- 第1次試験 次の5項目（技術力、独創性、表現力、構成力、将来性）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の3つの観点（思考力、社会性（コミュニケーション力）、将来性）から総合的に評価します。

【編集領域】

- 第1次試験 次の5項目（独創性、表現技術力、構成力、脚本理解力、将来性）を基準として総合的に評価します。
- 第2次試験 次の5項目（知識力、表現技術力、独創力、意欲・将来性、社会性（コミュニケーション力））を基準として総合的に評価します。

すべての領域において、課された試験（作品等の提出を含む。）を一つでも受験（又は提出）しなかった者は失格（不合格）となる。

【メディア映像】

第1次試験 次の3項目（技術力、実践力、独創性）を基準として、第1次試験で課した試験内容、及び出願時提出書類を総合して評価します。

第2次試験 次の5項目（基礎知識、理解力、表現力、同時代性、探究心）を基準として、第2次試験で課した試験内容、及び第1次試験の成績、出願時提出書類を総合して評価します。

- ・課された試験（作品等の提出を含む。）を一つでも受験（又は提出）しなかった者は失格（不合格）となる。

【アニメーション】

第1・2次試験 次の5項目（基礎技術、独創性、将来性、思考力、表現力）を基準として総合的に評価します。

- ・課された試験（作品等の提出を含む。）を一つでも受験（又は提出）しなかった者は失格（不合格）となる。

7 合否判定基準

【映画全領域】

4段階評価とし、上位から合格とします。

【メディア映像】

総合点が基準（6割）を満たした場合に、上位から合格とします。

【アニメーション】

4段階評価とし、上位から合格とします。

8 作品・資料の提出、日程・内容等

（映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻）

第1次試験の作品・資料の提出等は、全研究分野に課せられている。その提出及び引き取り方法は、

以下1. 映画専攻 2. メディア映像専攻 3. アニメーション専攻のとおり

1. 映画専攻

試験全体において使用言語は日本語とする。

1 監督、撮影照明、サウンドデザイン、編集の提出方法

- ・映像作品のビデオファイルフォーマットは下記で提出すること。
 - ・ビデオフォーマット：.mov/mp4
 - ・コーデック：H264/MPEG-4
 - ・レゾリューション：1920×1080
 - ・フレームレート：指定なし
 - ・オーディオフォーマット：48 kHz sound PCM/AAC（160kBit/s 以上を推奨）
 - ・8GB以内
 - ・日本語字幕：日本語音声作品以外は日本語字幕をつけること

(in English)

- ・ Video format requirements : .mov / .mp4
- ・ Recommended codecs : H.264 / MPEG-4
- ・ Resolution : 1920 x 1080
- ・ Frame rate : Free
- ・ Audio format requirements : 48kHz sound PCM / AAC (if possible > 160kBit/s)
- ・ File specifications : Your film file should not exceed 8 GB.
- ・ Subtitles : Without subtitles if the original language is Japanese.

With Japanese subtitles for all other original languages.

- ・ ファイルネームは下記の仕様 (※ 1) でつけること。

[受験番号] _ [受験領域] _ [試験次番号]

例) 受験番号 13、監督領域、2 次試験 → 13_D_2

(※ 1) PDF データでの提出の場合 (監督・撮影照明・サウンドデザイン・編集) も同様につけること。

- ・ 課題作品において「短編作品」の提出を指定している場合、本編の長さは 15 分以内とすること。
※15 分以上の作品を元に、15 分以内に再編集しても構わない。
※15 分を越える作品が提出された場合、審査においては開始から 15 分が経過した時点で映像の再生を停止する。
- ・ 作品には、必ずタイトルとスタッフクレジットを入れること。

監督領域 : D	脚本領域 : SW
プロデュース領域 : P	撮影照明領域 : C
美術領域 : A	サウンドデザイン領域 : SD
編集領域 : E	

2 脚本作品の提出方法

- ・ 1 頁目 : 表紙 (タイトル, 受験番号, 氏名, 第○次試験, 志望領域を明記)
※脚本領域受験者の提出作品のみ、表紙に 500~600 字程度のあらすじを書くこと。
 - ・ 2 頁目 : 人物表
 - ・ 3 頁以降 : 本文
- ※用紙は A 4, 縦書き, 20 字×40 行を基本に, 読みやすい文字の大きさとすること。
※ワープロ打ちが望ましい。

3 プロデュース・美術の提出方法

表紙に「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」

「映像研究科 募集要項」→「2026 年度各種様式」に掲載されている「資料 (ファイル, ポートフォリオ) 貼付用ラベル (修士)」→資料 (ファイル, ポートフォリオ) 添付用ラベルを印字し必要事項を書き込み必ず貼ること。

4 作品・資料提出時の注意事項

- ・ 専攻・領域, 受験番号, 氏名, 連絡先電話番号, 提出物 (ファイル, ポートフォリオ等) を明記した用紙 (A 4 サイズ, 様式任意) を添付すること。 (郵送又は持参の場合)
- ・ オリジナルは提出しないこと。紛失, 破損等があっても大学では責任を一切負わない。また, 安全管理上, 支障のある作品等は受け付けない。
- ・ 指定期限における日時は, 日本標準時 (JST) とする。
- ・ 指定期限までに提出のない場合は失格 (不合格) となる。
- ・ 過去, 映画専攻 (全領域) を受験した際に提出した作品を再提出することは認めない。

5 提出先及び提出手段

- ・ 指定した URL にアップロードして提出の場合

○URL 及びアップロードの手順は, 出願時に登録したメールアドレスに電子メールで通知する。

○URL 及びアップロードの手順の通知メールが下記の日にかぎりに届かない場合、大学院映像研究科教務係（045-650-6201）へ連絡すること。

監督：2025 年 12 月 17 日（水）

撮影照明，サウンドデザイン，編集：2026 年 1 月 26 日（月）

○複数回アップロードをした場合は，最新のファイルを審査する。

・**郵送（必着）による提出の場合**

○郵送先：〒231-0005 横浜市中区本町 4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科教務係

○ゆうパック又は宅配便等で送付すること。

○本研究科に送る封筒等には，「修士映画専攻 入試作品提出」と必ず朱書きすること。

・**持参による提出の場合（美術 第 2 次試験）**

○持参先：大学院映像研究科教務係（横浜校地馬車道校舎 1 階）

○代理人が提出する場合は，受験票及び志願者が書いた委任状（様式任意）を持参すること。

6 「作品・資料」に係る著作権

音楽，映像等，創作した人以外の人がある著作物を利用する際には，著作権者の許諾が必要となり，その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。ただし，受験に際しての提出物としては，通常，支障なしと考えられる。

7 作品・資料の返却

・申請窓口：大学院映像研究科教務係

電話：045-650-6201

- ・作品・資料の返却申請は，指定された期間内に電話で行うこと。
- ・返却申請があった受験者に対して，作品・資料を「送料受取人払い」により返送する。
- ・作品・資料の返却は不合格者に限り行い，最終合格者への返却は行わない。
- ・指定期間内に返却申請のない作品・資料は，本研究科で廃棄処分する。

8 日程・内容等

【監督領域】

年記載のない日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 2025 年 12 月 18 日（木）～1 月 5 日（月） ※ 1 月 5 日は 23:59 までに提出のこと。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	演出担当の短編映画作品（脚本添付のこと）：1 点 ※15 分以内（14 頁参照） ※12 月 17 日（水）に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品と脚本（PDF）をアップロードすること。
	第 1 次試験 合格者発表 1 月 14 日（水）14:00 頃～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	課題作品提出	【提出期限】 1 月 29 日（木）23:59 まで 【提出方法】 指定した URL にアップロード	※1 月 14 日（水）に合格者に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品をアップロードすること。
	第 2 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14:00 頃～（32 頁参照）		合格者には、第 3 次試験の課題・日程等を発表する。
第 3 次試験	作品提出	【提出期限】 2 月 11 日（水）23:59 まで 【提出方法】 指定した URL にアップロード	演出担当の映画作品（本編の長さ制限無し。脚本添付のこと）：1 点 ※ 2 月 6 日（金）に合格者に送られる通知メールに従って指定した URL に映像作品と脚本（PDF）をアップロードすること。
	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13:00	◆映画史・映画理論、各領域専門分野の試験 13:30～15:00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
	実技試験	【日時】 2 月 14 日（土） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	与えられた課題による演出実技課題・集合時刻等については、第 2 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
	口述試験	【日時】 2 月 16 日（月） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻等については、第 2 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13:00 頃～（32 頁参照）			

注意 監督領域志願者の提出作品については、全編がスチール写真のみで構成された作品、アニメーション作品、ドキュメンタリー作品の提出は認めない。一部使用は可。
 （ただし、本研究科から指定のあった場合は除く。）

【脚本領域】

年記載のない日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 2025 年 12 月 22 日（月）～23 日（火） ※12 月 23 日は 12 時(正午)までに 郵送（必着） のこと。 ※本学に直接持参しても受け付けません。	中編脚本（完成で 60 分以内）：1 点 ※自分の未発表オリジナル作品であること。執筆した時期は、新しいものが良い。
	第 1 次試験 合格者発表 1 月 14 日（水）14：00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	課題作品提出	【提出期間】 1 月 29 日（木）～30 日（金） ※1 月 30 日は 12 時（正午）までに 郵送（必着） のこと。 ※本学に直接持参しても受け付けません。	課題等は、第 1 次試験合格者発表時（1 月 14 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
	第 2 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14：00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 3 次試験の日程等を発表する。
第 3 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13：00	◆映画史・映画理論、各領域専門分野の試験 13：30～15：00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
	実技試験	【日時】 2 月 13 日（金） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	試験当日与えられる課題による文章作成 持参用具：筆記用具 集合時刻等については、第 2 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
	口述試験	【日時】 2 月 15 日（日） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻等については、第 2 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13：00 頃 ～（32 頁参照）			

【プロデュース領域】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1 月 29 日（木）～30 日（金） ※1 月 30 日は 12 時（正午）までに郵送（必着）のこと。 【提出方法】 ゆうパック又は宅配便等での発送のみ。 ※本学に直接持参しても受け付けません。	1. (プロデュース領域の)志望動機 800 字以上 1,000 字以内, 字数厳守 A 4 サイズ 2. フィクションドラマのあらすじ 2,400 字以上 3,200 字以内, 字数厳守 A 4 サイズ
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14:00 頃 ～ (32 頁参照)		合格者には, 第 2 次試験の日程等を発表する。
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13:00	◆映画史・映画理論, 各領域専門分野の試験 13:30～15:00 (試験時間 90 分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 (注意 1 2 3 頁を確認のこと)
	第 2 次試験 合格者発表 2 月 14 日（土）14:00 頃 ～ (32 頁参照)		合格者には, 第 3 次試験の日程等を発表する。
第 3 次試験	実技試験	【日時】 2 月 21 日（土） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	◆読解力・文章力にかかわる筆記試験 内容等については, 第 2 次試験合格者発表時 (2 月 14 日) に「入試情報サイト」にて発表を行う。
	ディスカッション・口述試験	【日時】 2 月 21 日（土） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻は, 第 2 次試験合格者発表時 (2 月 14 日) に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13:00 頃 ～ (32 頁参照)			

【撮影照明領域】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1 月 27 日（火）～29 日（木） ※ 1 月 29 日は 23:59 までに提出のこと。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	過去 3 年以内に撮影か照明、又は両方を担当した短編映像作品：1 点 ※ 15 分以内（14 頁参照） ※ 1 月 26 日（月）に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品をアップロードすること。
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14：00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13：00	◆映画史・映画理論、各領域専門分野の試験 13：30～15：00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
	課題作品提出	【提出期限】 2 月 15 日（日）12:00（正午）まで。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	※ 2 月 6 日（金）に合格者に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品と資料（PDF）をアップロードすること。
	口述試験	【日時】 2 月 16 日（月） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻は、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13：00 頃 ～（32 頁参照）			

【美術領域】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1 月 29 日（木）～30 日（金） ※1 月 30 日は 12 時（正午）までに 郵送 （必着）のこと。 【提出方法】 ゆうパック又は宅配便等での発送のみ。 ※本学に直接持参しても受け付けない。	「あなたがなぜ美術領域を志望するのか」を示してください。示し方は文章でも絵・図・写真を使ったポートフォリオでも構わない。 ポートフォリオは A 4 又は A 3 サイズのファイル 1 冊にまとめたもの。 「絵・図・写真」の点数は問わない。
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14：00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13：00	◆映画史・映画理論 各領域専門分野の試験 13：30～15：00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
	課題作品提出	【提出日時】 2 月 17 日（火） 【提出方法】 持参のみ受付。郵送等不可。	課題等は、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表を行う。
	口述試験	【日時】 2 月 18 日（水） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻については、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13：00 頃 ～（32 頁参照）			

【サウンドデザイン領域】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1 月 27 日（火）～29 日（木） ※ 1 月 29 日は 23:59 までに提出のこと。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	録音担当、整音担当、又は音楽担当として携った短編映画作品、又は①台詞、もしくはナレーション②効果音③音楽（①～③のどれかが欠けないこと）で構成された 5 分間の音響作品（フォーマットは Wav 24bit 48kHz）のいずれか 1 点を提出。 ※ 短編映画作品の場合は 15 分以内とする。（14 頁参照） ※ 1 月 26 日（月）に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品と映像作品資料（後述）をアップロードすること。 ※ 映像、又は音響作品資料の内容（フォーマットは pdf） 1. 作品名 2. 作品内容の説明（400 字以内） 3. 使用機材 <映像作品の場合> ・録音担当の場合はマイク、レコーダー等の機種名や型番を記載。 ・整音担当の場合は DAW、プラグイン・エフェクター等の機種名を記載。 ・音楽担当の場合は、使用楽器等の機種名を記載。 ・複数の担当を兼任した場合は、該当の各機材を記載し、複数人で作品を担当した場合は、作品での自分の役割を記載。 （録音であれば、録音チームの人数と自分の担当内容。整音や音楽の場合も同様に記載） <音響作品の場合> ・マイク、レコーダー、DAW、プラグイン・エフェクター等の機種名や型番、音楽を自作した場合は、使用楽器等の機種名を記載。 既成楽曲を使用した場合は、アーティスト名、曲名を記載。 ・声優などの協力者がいた場合は、音響作品と同様に記載する。
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14 : 00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の日程等を発表する。
	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13 : 00	◆映画史・映画理論、各領域専門分野の試験 13 : 30～15 : 00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
第 2 次試験	口述試験	【日時】 2 月 19 日（木） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻は、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13 : 00 頃 ～（32 頁参照）			

【編集領域】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1 月 27 日（火）～29 日（木） ※1 月 29 日は 23 : 59 まで提出のこと。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	編集担当の短編映画作品（脚本添付） 1 点 ※ 15 分以内（15 頁参照） ※ 1 月 26 日（月）に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品と脚本（PDF）をアップロードすること。
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 6 日（金）14 : 00 頃 ～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 12 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 13 : 00	◆映画史・映画理論 各領域専門分野の試験 13 : 30～15 : 00（試験時間 90 分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 2 3 頁を確認のこと）
	課題作品提出	【提出期限】 2 月 16 日（月）23:59 まで。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	※ 2 月 6 日（金）に合格者に送られる通知メールに従って、指定した URL に映像作品と資料（PDF）をアップロードすること。
	実技試験	【日時】 2 月 18 日（水） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	編集における構成能力を試す。 集合時刻は、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
	口述試験	【日時】 2 月 19 日（木） 【集合場所】 馬車道校舎 1 階	集合時刻は、第 1 次試験合格者発表時（2 月 6 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
	最終合格者発表 2 月 27 日（金）13 : 00 頃 ～（32 頁参照）		

注意 1 試験会場には時計がないので、ご注意ください。腕時計は使用できますが、スマートフォン、スマートウォッチ、タブレット等を時計としての使用は不可です。

2. メディア映像専攻

1 「映像資料」の提出方法

- ・「映像資料」は、これまでに制作した作品や研究業績がわかる内容を、長さ10分以内の1本のビデオにまとめたものとする。複数の作品や業績を編集して1本のビデオにしてよい。ビデオファイルのフォーマットはMP4(.mp4)又はQuickTime(.mov)、動画コーデックはH.264又はMPEG-4、音声コーデックはAAC又はMP3とする。
- ・使用言語は、日本語又は英語とする。

2 「ポートフォリオ」の提出方法

- 「ポートフォリオ」は、以下の内容をA4サイズ1冊にまとめたものとする。
- ・大学在学中あるいは卒業後の詳細な経歴。
 - ・作品等の研究業績、活動履歴の概要がわかるもの。
 - ・研究分野における業績がわかるもの。例えば卒業論文、論文誌等への投稿論文、学会発表論文等あるいは社会人においては、著書（共著、編著等を含む）などの活動歴がわかるもの（現物不可）、又は商業誌への掲載記事等。
 - ・使用言語は、日本語又は英語とする。

3 提出時の注意事項

- ・「映像資料」は指定したURLにアップロードする。URL及びアップロードの手順については、出願時に登録したメールアドレスに電子メールで通知する。URL及びアップロードの手順の通知メールが2026年1月10日までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係へ連絡すること。
- ・「映像資料」を複数回アップロードした場合は、最新のファイルを審査する。
- ・「ポートフォリオ」の表紙には、「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」に掲載されている「作品（DVD、CD）・資料（ファイル、ポートフォリオ）貼付用ラベル〈資料（ファイル、ポートフォリオ）用〉」を貼ること。
- ・「ポートフォリオ」には、オリジナルを提出しないこと。紛失、破損等があっても大学では責任を一切負わない。また、安全管理上、支障のある作品等は受け付けない。
- ・指定期限における日時は、日本標準時（JST）とする。
- ・指定期限までに提出のない場合は失格（不合格）となる。

4 提出先及び提出手段

- ・「映像資料」提出先：指定したURLにアップロード
- ・「ポートフォリオ」提出先：〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科教務係
- ・ゆうパック又は宅配便等で送付すること。
- ・本研究科に送る封筒等には、「修士メディア映像専攻 入試資料提出」と必ず朱書きすること。

5 「参考資料」に係る著作権

音楽、映像等、創作した人以外の人がある著作物を利用する際には、著作権者の許諾が必要となり、その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。ただし、受験に際しての提出物としては、通常、支障なしと考えられる。

6 第1次試験「参考資料（ポートフォリオ）」の返却

- ・申請窓口：大学院映像研究科教務係 電話：045-650-6201
- ・参考資料の返却申請は、指定された期間内に電話で行うこと。
- ・返却申請があった受験者に対して、参考資料を送料受取人払いにより返送する。
- ・参考資料の返却は不合格者に限り行い、最終合格者への返却は行わない。
- ・指定期間内に返却申請のない参考資料については、本研究科で廃棄処分する。

7 日程・内容等

【メディア映像専攻】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	参考資料提出	【提出期間】 ・「映像資料」 1 月 20 日（火）～ 26 日（月） ※ 1 月 26 日は 23:59 までに提出のこと。 ・「ポートフォリオ」 1 月 20 日（火）～ 26 日（月） ※ 1 月 26 日は 16:00 までに必着のこと。 【提出方法】 ・「映像資料」 指定した URL にアップロード ・「ポートフォリオ」 ゆうパック又は宅配便等での発送のみ ※ 本学に直接持参しても受け付けない。	第 1 次試験では「参考資料」として提出する、これまでに制作した作品や研究業績がわかる内容を、長さ 10 分以内の 1 本のビデオにまとめた「映像資料」及び以下の内容を A 4 サイズ 1 冊にまとめた「ポートフォリオ」を審査する。 ・大学在学中あるいは卒業後の詳細な経歴。 ・作品等の研究業績、活動履歴の概要がわかるもの。 ・研究分野における業績がわかるもの。 例えば卒業論文、論文誌等への投稿論文、学会発表論文等あるいは社会人においては、著書（共著、編著等を含む）などの活動歴がわかるもの（現物不可）、又は商業誌への掲載記事等。 使用言語は、日本語又は英語とする。
	第 1 次試験 合格者発表 2 月 3 日（火）14:00 頃 ～（32 頁参照）		※ 第 1 次試験合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	課題提出	【提出期間】 2 月 16 日（月）10:00 から 2 月 17 日（火）23:59 まで 【提出方法】 指定した URL にアップロード ※ 本学に直接持参しても受け付けない。	◆ビデオによる提出 指定した形式でアップロード 提出方法、課題等詳細については、第 1 次試験合格者発表時（2 月 3 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
	筆記試験	【日時】 2 月 19 日（木） 【集合場所】 万国橋会議センター 4 階 【集合時刻】 12:30	◆英語を含む、教養試験 13:00～14:00（試験時間 60 分） ※ 解答は日本語に限る。 ※ 持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等は持込禁止。 （注意 1 25 頁を確認のこと）
	口述試験	【日時】 2 月 20 日（金）、21 日（土） 【集合場所】 元町中華街校舎 1 階	口述試験の日程・集合時刻等については、第 1 次試験合格者発表時（2 月 3 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13:00 頃 ～（32 頁参照）			

メディア映像専攻 研究室訪問について

メディア映像専攻の入学希望者を対象に、研究室訪問を予定している。詳細情報については、随時本研究科 Web サイトにて告知する。

注意 1 試験会場には時計がないので、ご注意ください。腕時計は使用できますが、スマートフォン、スマートウォッチ、タブレット等を時計としての使用は不可です。

3. アニメーション専攻

○第1次試験「参考資料（映像資料／ポートフォリオ／研究・制作計画）」の提出

①「映像資料」の提出方法

「映像資料」は、これまでに制作した作品や研究業績がわかる内容を、長さ10分以内の1本のビデオにまとめたものとする（作品として未完成の習作やプレゼンテーション動画等も入れてよい）。ビデオファイルのフォーマットはMP4(.mp4)、動画コーデックはH.264又はMPEG-4、音声コーデックはAAC又はMP3とする。

- ・ムービーのファイル名は「受験番号」「_（アンダーバー）」「映像資料」とすること。

例) 87_映像資料.mp4

- ・使用言語は、日本語又は英語とする。

②「ポートフォリオ」の提出方法

「ポートフォリオ」は、以下の内容をPDF形式のデータ1点にまとめたものとする。

- ・大学在学中あるいは卒業後の詳細な経歴。
- ・作品や活動内容が詳しくわかるもの（共同制作の場合、担当部分、役割について明記すること。）
- ・研究活動については論文、学会発表、著作、雑誌掲載記事等の業績が詳しくわかるもの。
- ・PDFはA4ヨコでまとめ、データサイズは10MB以内におさめること。
- ・PDFのファイル名は「受験番号」「_（アンダーバー）」「ポートフォリオ」とすること。

例) 87_ポートフォリオ.pdf

- ・使用言語は、日本語又は英語とする。

③「研究・制作計画」の提出方法

「研究・制作計画」は、以下の内容をPDF形式のデータ1点にまとめたものとする。

- ・大学院において制作したい作品や研究の目的と内容がわかるもの。
- ・PDFはA4サイズ4～6ページでまとめ、データサイズは10MB以内におさめること。
- ・PDFのファイル名は「受験番号」「_（アンダーバー）」「研究・制作計画」とすること。

例) 87_研究・制作計画.pdf

- ・使用言語は、日本語とする。

1 提出時の注意事項

- ・「映像資料」「ポートフォリオ」「研究・制作計画」は指定したURLにアップロードする。URL及びアップロードの手順については、出願時に登録したメールアドレスに電子メールで通知する。URL及びアップロードの手順の通知メールが2026年1月13日（火）夜までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係へ連絡すること。
- ・提出期間中に複数回アップロードした場合は、最新のファイルのみを審査する。
- ・指定期限における日時は、日本標準時（JST）とする。
- ・指定期限までに提出のない場合は失格（不合格）となる。

2 提出先及び提出手段

- ・指定したURLにアップロード

3 「参考資料」に係る著作権

音楽、映像等、創作した人以外の人がある著作物を利用する際には、著作権者の許諾が必要となり、その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。ただし、受験に際しての提出物としては、通常、支障なしと考えられる。

4 日程・内容等

【アニメーション専攻】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 1 次試験	参考資料提出	【提出期間】 1 月 13 日（火）～16 日（金） ※1 月 13 日（火）正午頃に送る通知メールに従って、資料をアップロードすること。 ※1 月 16 日（金）の正午までにアップロードを完了すること。 【提出方法】 指定した URL にアップロード	第 1 次試験では「参考資料」として提出された、以下の 3 点を審査する。 ◆映像資料 これまでに制作した作品や研究業績（作品として未完成の習作やプレゼンテーション動画等も入れてよい）がわかる内容を、長さ 10 分以内の 1 本のビデオに編集してまとめたものとする。 ◆ポートフォリオ 以下の内容を PDF 形式のデータ 1 点にまとめたものとする。 ・経歴（大学在学中あるいは卒業後の経歴や活動履歴が詳細に記述されていること。） ・作品や活動内容が詳しくわかるもの（共同制作の場合、担当部分、役割について明記すること。） ・研究活動については論文、学会発表、著作、雑誌掲載記事等の業績が詳しくわかるもの。 ・PDF は A4 ヨコでまとめ、データサイズは 10MB 以内に納めること。 ◆研究・制作計画 以下の内容を PDF 形式のデータ 1 点にまとめたものとする。 ・大学院において制作したい作品や研究の目的と内容がわかるもの。 ・PDF は A4 サイズ 4～6 ページでまとめ、データサイズは 10MB 以内におさめること。 ※使用言語は、日本語とする。
	第 1 次試験 合格者発表 1 月 28 日（水）14:00 頃～（32 頁参照）		合格者には、第 2 次試験の課題・日程等を発表する。

【アニメーション専攻】

日付はすべて 2026 年

試験種別		日時	試験内容及び方法
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2 月 10 日（火） 【集合場所】 万国橋校舎 （万国橋会議センター 3 階） 【集合時刻】 10：10	◆小論文 10：30～12：30（試験時間 120 分） ◆専門試験 14：00～17：00（試験時間 180 分） ※解答は日本語に限る。 ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2 月 11 日（水・祝）, 12 日（木） 【集合場所】 万国橋校舎 （万国橋会議センター 3 階）	口述試験の日程・集合時刻等については、第 1 次試験合格者発表時（1 月 28 日）に「入試情報サイト」にて発表する。
最終合格者発表 2 月 27 日（金）13：00 頃 ～（32 頁参照）			

9 受験における注意事項

- ・本要項以外の試験に関する事項は、試験当日及び中間合格者発表日に、本学の「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>) 」で発表する。
- ・発表した試験内容や合格者発表についての照会には一切応じない。
- ・第1次（第2次）試験不合格者は、第2次（第3次）試験を受験することができない。
- ・携帯電話及び通信機器を備えた電子機器等の使用を禁止する。試験会場内での取扱いについては、監督官の指示に従うこと。
- ・カメラ及び録音機器等の持込及び使用を禁止する。
- ・不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- ・受験者は指定された集合時刻・集合場所に直接来ること。
- ・遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めない。
- ・受験票は必ず携帯すること。紛失又は忘れた時は、すみやかに申し出ること。
- ・試験中は、すべて監督官の指示に従うこと。
- ・本研究科で実施する試験の答案・制作作品等は返却しない。また、本研究科から交付した問題用紙等も一切持ち帰らないこと。
- ・受験者は指定された場所以外の建物や教室等には一切立ち入らないこと。
- ・試験会場は天候等によっては、環境の維持が難しい場合がある。また、試験によっては待機時間等が長くなる場合もある。温度に対しては個人差があるため、各自で調整できる服装で来ること。
- ・東京藝術大学では、受動喫煙防止を図るため、敷地内の全面禁煙を実施している。そのため、試験会場は、敷地外に設ける試験会場も含め、禁煙とする。また、周辺道路等で喫煙する場合も、周囲の迷惑とならないよう配慮するとともに、受動喫煙防止に努めること。
- ・入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者に感染させる恐れがあるため、原則として受験できない。
ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではない。
なお、上記により受験できなかった場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行わない。
- ・試験会場の事前下見はできない。

○試験当日における「気象等の特別警報又は警報」発令の際の注意事項

試験当日、特別警報又は警報が発令されている場合、本研究科は受験者の集合時刻を遅らせる決定をする場合がある。その際は「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 」で告知する。

10. 入学試験会場

- ・東京藝術大学大学院映像研究科 横浜校地 馬車道校舎
 - 所在地：横浜市中区本町 4-44
 - 最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車5番又は7番出口すぐ
 - 電話：045-650-6201
- ・東京藝術大学大学院映像研究科 横浜校地 万国橋校舎
 - 所在地：横浜市中区海岸通 4-23 万国橋会議センター 3階
 - 最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車6番出口から徒歩5分
- ・万国橋会議センター4階
 - 所在地：横浜市中区海岸通 4-23 万国橋会議センター 4階
 - 最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車6番出口から徒歩5分

■馬車道校舎、万国橋校舎（万国橋会議センター） 地図



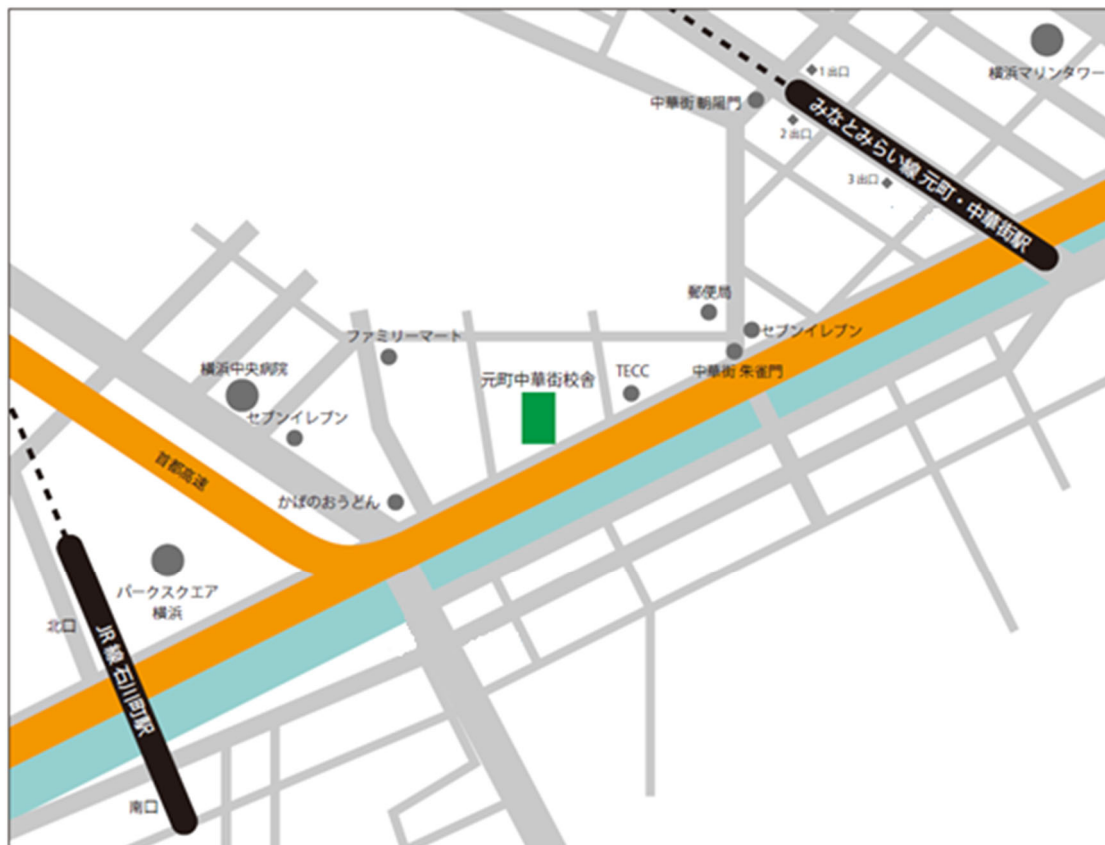
・東京藝術大学大学院映像研究科 横浜校地 元町中華街校舎

○所在地：横浜市中区山下町 116

○最寄駅：JR 線「石川町」駅 南口から徒歩 5 分

みなとみらい線「元町・中華街」駅 3 出口から徒歩 6 分

■元町中華街校舎 地図



1 1 合格者発表

1. 発表日時及び発表場所

合格発表は全て本学の入試情報サイトで行い、馬車道校舎掲示板等での掲示発表は行わない。

※発表における日時は、日本標準時（JST）とする。

入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>)

2-1 映画専攻（監督、脚本 各領域）

第1次試験 合格者発表	2026年1月14日（水） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)
第2次試験 合格者発表	2026年2月6日（金） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)

2-2 映画専攻（プロデュース、撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集 各領域）

第1次試験 合格者発表	2026年2月6日（金） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)
第2次試験 合格者発表 （プロデュースのみ）	2026年2月14日（土） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)

2-3 メディア映像専攻

第1次試験 合格者発表	2026年2月3日（火） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)
-------------	---

2-4 アニメーション専攻

第1次試験 合格者発表	2026年1月28日（水） 14：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)
-------------	--

2-5 映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻

最終合格者発表	2026年2月27日（金） 13：00頃 「入試情報サイト」 (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)
---------	--

3. 次の試験の「課題及び日程」等発表

- ・第1次（第2次）試験合格者発表時、次の試験の「課題及び日程」等を発表する。
- ・合格者発表時、課題に関する資料を配付する場合がある。その際は、出願時に登録したメールアドレスに必要な情報を送信する。

4. 最終合格者への入学手続書類の郵送

- ・郵送日：2026年3月2日（月）
- ・最終合格者が出願時提出した「入学手続書類送付宛名ラベル」を使用して郵送する。

5. 合格者発表に関する注意事項

電話、メール等による可否の照会には一切応じない。

1 2 入学手続等

1. 手続日時

○手続期日：2026年3月9日（月）必着（郵送のみ）

○郵送先：東京藝術大学 大学院映像研究科教務係（〒231-0005 横浜市中区本町 4-44）

2. 入学料

金額：338,400 円

- ・入学手続完了者が2026年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。
- ・国費外国人留学生は、入学料の支払いは不要。
- ・入学料については、免除及び徴収猶予制度がある。

（1 3 「入学料・授業料の免除・徴収猶予」についてを参照）

3. 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（2年分）

金額：2,430 円

4. 東京藝術大学キャンパス環境整備支援会 会費（2年分）

金額：50,000 円

「東京藝術大学キャンパス環境整備支援会」とは、東京藝術大学のキャンパス環境の充実を図るため、東京藝術大学の施設整備等に対し助成を行う会です。上記趣旨にご賛同の上、ご協力（ご入会）をお願いします。会費は入学手続時にお支払いいただきます。

5. 授業料

金額：前期分 321,480 円、後期分 321,480 円（年額 642,960 円）

- ・原則として口座振替による支払いとなる。
- ・年額を半期ごとに支払う。（5月下旬と11月下旬）
- ・在学中に授業料改定が行われた場合、改訂時から新授業料が適用される。
- ・国費外国人留学生は、授業料の支払いは不要。

6. 実習費等

入学手続きの際、研究室より別途案内する。

1 3 「入学料・授業料の免除・徴収猶予」について

東京藝術大学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度がある。希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続を行うこと。

なお、入学料・授業料支払後の各種申請はできないので注意すること。

また、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておくこ

と。

免除・猶予の申請要件は次のとおり

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_tuition

●「特に優れた業績による返還免除」修士課程内定制度について

大学院修士課程等に進学後、日本学生支援機構の第一種奨学金または授業料後払い制度（無利子貸与型を希望する者を対象として、通常貸与終了時に決定する「特に優れた業績による返還免除」を、機構が定める推薦枠数の範囲で、予め内定する制度です。進学前年に進学予定の大学院にて申請手続きを行います。

希望する者は下記本学HPより申請要領を確認の上、所定の手続きを行ってください。

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/jasso_scholarship#044

●「修学支援奨学金（給付型）」について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、出身大学の成績が不振で上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

●「優秀学生への奨学金」について

東京藝術大学では、在学中特に優れた成績を修めた者に対し、各種の奨学金制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については東京藝術大学ホームページを確認すること。

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/geidai_scholarship

1 4 外国人留学生への注意事項

日本入国査証（ビザ）について

受験のために「短期滞在」の在留資格で来日することは可能ですが、入学が決定した場合は、入学までに「留学」の在留資格を取得してください。「短期滞在」の在留資格で入国した場合、原則日本国内に滞在したまま在留資格を「留学」にすることはできないので（一時帰国後、在留資格認定証明書（COE）の申請を行い、母国の日本大使館・領事館での査証/ビザ申請が必要）、その点予めご了承ください。

在留資格認定証明書（COE）の代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する者は、合格者に案内する必要書類を入学手続き時に提出してください。

※在留資格認定・ビザの取得審査は関係省庁が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

※留学生を対象とする授業料や入学料免除・徴収猶予および大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。

※「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。

（例：他大学にも合格した場合や、何らかの事情ですでに有効な「在留資格認定証明書」を有している場合など。）申請が重複している場合、証明書は交付されません。本学による在留資格認定証明書（COE）の代理申請を希望する場合には、すでに申請している機関に取り下げを依頼してください。

1 5 入学試験情報の開示請求

大学院映像研究科（修士課程）入学試験の個人成績を受験者本人の申し出に限り開示する。申し込み方法は次のとおり。

1. 申し込み方法

インターネット出願サイト内で申請してください。成績開示手数料として、500 円が必要となりますので、入学検定料と併せてお支払いください。

2. 受付期間：インターネット出願時に受付

1) 映画専攻（監督・脚本領域）・メディア映像専攻・アニメーション専攻

2025 年 11 月 20 日（木）10:00～2025 年 11 月 26 日（水）23:59 まで

2) 映画専攻（プロデュース・撮影照明・美術・サウンドデザイン・編集領域）

2026 年 1 月 5 日（月）10:00～2026 年 1 月 8 日（木）23:59 まで

3. 開示内容

○2026 年度入学試験個人成績を開示する。

○個人成績を得点又は段階評価により開示する。順位は開示しない。

4. 開示方法

インターネット出願サイトのマイページ上で開示します。出願時に登録したメールアドレスとパスワードは必ず控えてください。マイページ上にログインする際に必要です。特にパスワードを忘れた際は、出願時に登録したメールアドレスでのみ、リセットの作業が可能ですのでご注意ください。

5. 開示期間：2026 年 5 月 7 日（木）～2026 年 6 月 5 日（金）

16 個人情報の取扱いについて

本学が入学選抜試験を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほかに次のとおり。

・利用目的

- 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

・第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律の第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく、他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合、必要最低限の情報を提供することがある。

- 上記「利用目的」各号の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ・東京芸術大学生生活協同組合
 - ・東京芸術大学キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会）

17 大学院映像研究科（修士課程）入試説明会の実施について

8月以降に各専攻において「入試説明会」（対面 or ON-LINE）を開催、または説明会動画のWEB配信を予定しています。入試説明会の詳細については、後日、本研究科Webサイト（<https://fm.geidai.ac.jp/>）にて告知致します。

・入試説明会に関する注意事項

- 事前申込制。
- 指定の日時までにWebサイト上から申し込むこと。
- オンライン入試説明会の申込方法等の詳細については、後日、「映像研究科Webサイト（<https://fm.geidai.ac.jp/>）」に掲載する。
- 入試説明会では、入試に関するご質問を受け付けます。ただし、入学試験の公平性・公正性に関わること、教員個人に関すること等の質問には答えられません。また、質問の全てに答えられるわけではないことをあらかじめご承知おき下さい。
- 2027年度以降の受験及び入学希望者も参加できる。

・問い合わせ先

東京藝術大学 大学院映像研究科教務係

電話：045-650-6201

メール：eizo.kyomu@ml.geidai.ac.jp

18 メディア映像専攻 研究室訪問について

メディア映像専攻の入学希望者を対象に研究室訪問を予定している。詳細情報については、随時本研究科Webサイト（<https://fm.geidai.ac.jp/>）にて告知する。

2026 年度
東京藝術大学
大学院映像研究科（修士課程）

映画専攻
メディア映像専攻
アニメーション専攻

学生募集要項

2025 年 8 月発行